

暮らしに寄り添う、柔らかなガラス作品 「船木倭帆 暮らしのガラス」開催のお知らせ

島根県立美術館では、コレクション展 展示室 3 にて「^{ふなきしずほ}船木倭帆 暮らしのガラス」を開催しています。

「器は使われて初めて器になる」という考えのもと制作を続けた、ガラス作家・船木倭帆。日々の暮らしのためのガラス器をご紹介します。

島根県松江市に生まれた船木倭帆は、^{ふじな}布志名焼で代々続く窯元に育ちながらも、自らの表現の場をガラスに求め、独自の道を切り拓いた作家です。大学卒業後、大阪の町工場で吹きガラスを修業し、独立後は一貫して日常使いの器を作り続けました。吹きガラスならではの柔らかな造形や色ガラスで加飾したおおらかな模様が魅力です。本展では、当館収蔵品の中から船木倭帆のガラス器を中心に、関連資料とあわせてご紹介します。

●みどころ

- ・吹きガラスによる、のびやかで瑞々しい船木倭帆の代表的作品群
- ・布志名焼の家系に生まれた作家の歩みと独自の表現世界
- ・夏にふさわしい、光と透明感がもたらす涼やかな鑑賞空間

【基本情報】

展覧会名： 船木倭帆 暮らしのガラス

会 期： 令和8年7月1日(水)～令和8年9月14日(月)

休 館 日： 火曜日（ただし8月11日は開館）

開館時間： 10:00～日没後 30 分

※展示室への入場は日没時刻まで

会 場： 島根県立美術館 2階コレクション展 展示室 3

観 覧 料： 一般 400 円、大学生 260 円、小中高生無料

※毎日午前中は「かぞくの時間」。

こっころカード（アプリ）提示でお子様と来館の方 4 名
までコレクション展観覧料無料



船木倭帆《レーマー杯》1989 年頃 島根県立美術館蔵



船木倭帆《リーフ文鉢》1977～1987 年頃 島根県立美術館蔵



船木倭帆《アラレワイングラス》1980 年 島根県立美術館蔵

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和8年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/yosan/yosanr8/r8gaiyou.data/sinkikakuur8.pdf>

(島根創生計画[第2期])

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku2nd.pdf>

島根創生計画 [第2期]	VI心豊かな社会をつくる 2 スポーツ・文化芸術の振興 (2) 文化芸術の振興 (P 8 1)
-----------------	---

